

北海道新幹線札幌延伸に伴う対応

〔胆振全域共通・継続〕

■ 現 状

北海道新幹線については、平成27年度末に新函館（仮称）開業、平成47年度までの札幌延伸が予定されており、交流人口の増加など、北海道経済活性化の起爆剤として期待されている。

一方で、新幹線ルートから外れる胆振地域は、観光面の落ち込みや地域住民の交通利便性の低下などが懸念されており、昨年10月、北海道新幹線の開業効果を最大限に高め、地域経済活性化に資することを目的に、胆振・日高地域が連携し官民一体組織である「北海道新幹線×nittan地域戦略会議」を立ち上げ、まずは2年後に迫った新函館（仮称）開業に向けて情報発信を通じた気運醸成などの取り組みを進めているところである。



北海道新幹線×nittan地域戦略会議
ロゴマーク

■ 課 題

- 新函館（仮称）開業効果の胆振日高地域への波及
- 札幌延伸に伴う観光面の落ち込みや地域住民の交通利便性の低下

■ 要望内容

- 北海道新幹線の開業効果を高めるための日胆地域の取り組みに対する支援
- 道内におけるFGT（フリーゲージトレイン）の導入に向けた調査研究の推進
- 長万部駅において在来線と新幹線のホームを隣接させ、乗り継ぎ利便性の確保
- 在来特急の存続及び便数の維持確保
- 東室蘭～長万部間の全線複線化と電化の促進

■ 事業効果

- 地域住民の交通利便性の確保
- 観光客の乗継利便性の確保
- 地域経済の活性化

